

## 学校経営推進費 評価報告書（2年め）

### 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立箕面支援学校
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	1 学校教育自己診断において本校の教育活動に関する肯定的評価（保護者・教職員）の向上 2 児童、生徒の健康保持、身体能力の向上
計画名	みのおしえん パワー自立活動プロジェクト ～パワープレート等で自立活動の充実を～

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境（ICT 機器、自立活動に関する機器）を整備し、それらを活用した指導内容の充実を図る。</li> <li>・自立活動指導におけるより広範でレベルの高い専門性の向上をめざす。</li> </ul>
事業目標	<p>パワープレートやフィットネスマシン等の機器を整備し、自立活動の充実を図ることにより、障がいのある児童、生徒の健康度や身体能力の向上に資するとともに、主体的に自己の健康づくりに取り組む意識づくりを目指す。</p> <p>また、様々な機器を活用した標準的な自立活動プログラムを開発することで、教員が安心かつ安定して子どもたちに提供できる自立活動の充実を図る。</p> <p>これらの取組みにより、初年度に学校教育自己診断の本校の自立活動に関する肯定的評価がすでに80%を超えているが（H30年度 85%、R1年度 86%）さらに向上した。3年めには90%を越えることを目標とする。</p>
整備した 設備・物品	<p>スタイルドクターチェア（2）、ドクターエアストレッチロール（1）、スタイルキッズ（Mサイズ）（1）、スタイルキッズ（Lサイズ）（1）、ストレッチポール半分カット（1）、レインボーパテ（6）、ロディマックス（1）、ロディ（1）、スラックレール（4）、ミオフューズ（1）、ムービングクッション（1）、ムービングクッション Jr（1）、スクワットサポートシート（1）、フロッグスライドスクーター（1）、スライディングボード 180cm（1）、コアトレーニングボール（1）、バトルロープ（アンカーストラップ付）（1）、ウェイトベスト（10kg）（1）、レジスタンスパラシュート（1）、肩甲骨ストレッチャー（1）、介助用ベルト（1）、ハイパースフィア・ミニ（1）</p>
取組みの 主担・実施者	<p>主担： 自立活動ワーキングチーム、自立活動部</p> <p>実施者： 自立活動の時間の授業担当者</p>
本年度の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年め当初は緊急事態宣言等により、フィットネス機器類の使用を中止した。現在は制限なく利用再開しているが、朝のランニングは中止継続中で、ウォーキングで代替しているため、心拍数管理機器の使用は中断している。</li> <li>・夏季休業中に主に新転任教員を対象に、パワー自活関連のフィットネス機器の概要と利用方法の説明会を実施。</li> <li>・自活ワーキングチームでは、毎月マニュアル作成検討会を行い、写真入りの簡易マニュアルの第1版が完成した。</li> <li>・ニーズ別の推奨プログラムも順次作成し、掲示を開始している。</li> <li>・12月にweb開催された第65回全国肢体不自由教育研究協議会埼玉大会でポスター発表を行い、パワー自活の概念、実践と成果を報告し、自立活動の時間にフィットネス機器を利用する有効性について科学的根拠を踏まえて発信した。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月の領域研究会で、中学部生徒のパワー自立活動実践報告を行った。</li> <li>・ 全校的な各種フィットネス機器類の再配置について検討してきたが、大型器具類については1年めと同様の集約配置としている。追加導入した小型器具類は、パワープレート設置場所を中心に分散配置している。</li> <li>・ 自立活動教諭による自立活動の時間の巡回相談時に、各児童生徒に合わせたフィットネス機器類の具体的な利用方法について助言した。</li> </ul>
<b>成果の検証方法 と評価指標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育自己診断において本校の自立活動に関する肯定的評価（保護者・教職員）85%以上。（R1年度 86%）</li> <li>2 標準的自立活動プログラムの簡易マニュアルの完成。</li> <li>3 パワー自立活動による児童・生徒の健康保持や身体能力向上の実践を研究発表する。</li> </ol>
<b>自己評価</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教育自己診断において本校の自立活動に関する肯定的評価が（保護者・教職員）85%を超えた。（R2年度 93%）……………（◎） ※ 令和2年度から、学校教育自己診断票に「学校は、自立活動に関わる機器や設備を整備するなど、指導充実に努めている」という、より明確な項目を新設した。</li> <li>2 自立活動ワーキングチーム内で、簡易マニュアル作りに取り組み、予定通り作成を終えた。作成したマニュアルは機器設置場所の見やすい場所に掲示している。……………（◎）</li> <li>3 第65回全国肢体不自由教育研究協議会埼玉大会でポスター発表を行い、自立活動の時間におけるフィットネス機器利用の個別検証結果を報告し、児童・生徒の健康保持や身体能力向上への有効性について全国に発信した。……………（◎）</li> </ol>
<b>次年度に向けて</b>	<p>パワー自立活動の2年め当初は新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の影響で活動が中断したが、現在はほぼ通常通り実施できるようになった。簡易マニュアル作成、校内研修会、全肢研協議会大会での発表など、予定していた取組みを無事終えることができた。</p> <p>評価指標としての自立活動に関する肯定的評価は目標を超える結果となった。最終年度は、本年度作成したマニュアルを更に発展させて全マニュアルを完成する。また、全肢研等を活用して、様々なパワー自立活動の実践方法や個別の器具類の効果的な使用法についても全国に発信していきたい。</p>